

分野	授業教目名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
基礎	人間関係論	1	30	2年次前期	非常勤講師

テキスト(発行所)	なし
-----------	----

学習のねらい	看護の場面で、患者の話をよりよく聴けるようになること。
学習目標	カウンセリングの技法を援用し、話を聞く姿勢を学び、看護におけるコミュニケーション能力を向上させる。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	『聴くこと』の意味	講義全体のオリエンテーション	講義
2回	自己理解・他者理解	自分を表現するワーク (描画等)	講義・実習
3回	自己理解・他者理解 非言語的コミュニケーション	トラストワークなどのワーク	実習
4回	傾聴のあり方	心理療法としての『聴くこと』	講義・実習
5回	傾聴のあり方	ロールプレイ	実習
6回	傾聴のあり方	聴く技術と理論	講義
7回	傾聴のあり方	カウンセリングのモデルを見る	実習
8回	傾聴のあり方	ロールプレイ	実習
9回	自己理解・他者理解	自分を表現するワーク	実習
10回	傾聴のあり方	聴く姿勢と技術	講義 ビデオ視聴
11回	傾聴のあり方	ロールプレイとグループワーク	実習
12回	傾聴のあり方	ロールプレイとグループワーク	実習
13回	傾聴のあり方	模擬患者とのロールプレイ (COML)	実習
14回	(13回と同日に引き続き)		
15回	講義のまとめ	自分を振り返るワーク	講義と実習

単位認定の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること。 2. 出席と講義後の振り返りレポートを加味し、終講後のレポートで評価。
受講上のアドバイス	講義や実習は多少前後することがあるかもしれませんが、講義の最後に次の予告をします。 講義中は集中して、自分自身や他者のあり方などに、新たな気づきを得ていく時間にしてください。